

図書室だより

開成町民センター図書室のスタッフが、おすすめの本やイベントなどの最新情報を紹介します！ぜひ、お越しください。お待ちしております♪

新しく購入した図書



一般書

限界国家▶
にれしゅうへい
楡 周平



メメンとモリ

図書館のお夜食

東京のワクワクする大学博物館めぐり

ヨシタケ シンスケ

原田 ひ香

おおつば ことる
大坪 寛

児童書

1ねん1くみきゅうしょくどきどき▶
がじゅまる はな



あさごはんで世界いっしゅう
がっこうにまにあわない
おうちをみせて

アリス・B・マッギンティ
ザ・キャビンカンパニー
ももろ

開成町民センター図書室情報

電話▶☎20-4742
開室時間▶火～金曜日：9時30分～20時30分
土・日・祝日：9時30分～17時
休室日▶毎週月曜日
貸出冊数は一人6冊までです。貸出期限は2週間です。

図書室が毎月発行している「あじさいつうしん」と▶
「新しく買った本のリスト」はこちらから！
ぜひ、ご覧ください。



おすすめ本

いい子のあくび

たかせ じゅんこ
高瀬 隼子 著
出版：集英社



主人公の直子は、学校でも職場でも恋人の前でも「いい子」。人の悪口は言わず、よく気がつき、さりげなく親切を發揮する。でも、歩きスマホの人を除けたり、職場で備品を補充したりするのは、なぜいつもわたしだけ？と「割りに合わなさ」を感じている。日々生活していくなかで、理不尽に感じることや小さなむかつきに焦点を当て、女性たちの静かな心の叫びが描かれている。

毎月開催！「おはなし会」

日時：10月25日(水)
14時～14時30分
場所：キッズライブラリー
たのしい読み聞かせです♪



サポセンNEWS

町民センター2階「開成町民活動サポートセンター」(通称、サポセン)に利用登録をしている団体の活動を紹介します。

☎ 企画政策課 ☎84-0312

開成町親子コーチング

活動内容：子どもたちの夢や目標を全承認し、コミュニケーションを通して子どもも親も笑顔が増える毎日になります♪

活動場所：オンライン、自宅サロン、町民センター会議室を予定
活動日時：月1回 第二水曜日もしくは土曜日 10:00～12:00
(詳細は、サポセンのポスター・LINEにて告知します)

活動PR：アドラー心理学ベースのコーチングを用いて子どものお話を上手に聴く・伝えるをお届けします♪他にもやる気スイッチを入れる声掛けのコツやポイントカードを使った子どもの隠れた悩みが「パッ!」と解決できる体験会、自分のトリセツの作成など楽しいワークも行っています。子育てライフ、10点満点中、「今」何点ですか？

問合せ：下山 恵未 ☎090-5332-3524
メール e-shimoyama@ss-factory.co.jp

サポセンからのお知らせ

サポセンで地域活動への参加のきっかけづくりをしてみませんか。ちょっとした打ち合わせやミーティング、事務作業や学習にも利用できます。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

サポセン利用登録はこちら▶



▶メールはこちら



▶開成町親子コーチングLINE



子育て健康課 五所 俊輔



子育て健康課 五所 俊輔

どうして手が出てしまうの？

それ、ストレスが原因かも…
子どもは、ストレスがかかってもうまく対処できないため手が出てしまいます。



子育てナビ

「お友だちを叩いてしまうんです…」
「遊びに行っても、手が出てしまうのでは…」と悩む保護者も多いのではないのでしょうか。今回は、手が出てしまう原因と対処方法をご紹介します。

☎ 子育て健康課 ☎84-0327

こんなときにストレスがかかります

感情をコントロールできないとき

子どもは、思いどおりにならない怒りやイライラを適切に対処できる力がまだありません。



コミュニケーションがとれないとき

おしゃべりが得意な子ども、自分の感情や欲求を相手に伝えるはまだ難しく、ストレスがかかります。

環境等が変化したとき

第二子の誕生や幼稚園・保育園への入園、引っ越しなどで環境がガラリと変わると、不安やストレスがかかります。

手が出てしまう子への関わり方

対応は冷静に、子どもへの共感を大事に

我が子が手を出してしまうと、保護者は驚いてつい叱ってしまいがちです。しかし、叱っても何が悪かったか理解することが難しいのが幼児期。まずは感情的にならず、子どもの行動や気持ちに寄り添い、理解を示しましょう。

保護者がお手本を示す

子どもは大人の行動をよく見て、真似をして育ちます。手が出てしまったら、子どもに謝らせるのではなく、まずは保護者自身が謝る姿を子どもにしっかりと見せてあげましょう。

手が出てしまうのを未然に防ぐ

子どもが手を出す場面を何回か見ていると、「そろそろ叩くかも…」と感じるようになります。その時は、手が出る前に子どもを抱きしめて手が出ないようにしたり、別の遊びに誘導したりするなどしてください。その際は「叩かないでいられたね。」と子どもに声をかけ、肯定してあげましょう。



▲楽しい思い出がいっぱい



▲みんなでごはんタイム♪

元気だより

☎ 文命中学校 ☎83-1386

主体性を意識した修学旅行

文命中学校 教頭
日吉 信秀

6月、3年生が修学旅行で奈良・京都に行きました。感染症対策を取り、以前と同じように修学旅行を実施できました。

事前学習をもとに班ごとでコースを決めたり、服装やお小遣い等のルールを学年委員会を中心に自分たちで決めたりと、主体的で、より良い修学旅行を意識して行動していました。

旅行中、龍谷大学響都ホールでの舞妓鑑賞では、立居振舞の美しさに、多くの生徒が魅了され、鑑賞後は舞妓さんと集合写真を撮るなど、印象深い体験になったようです。

修学旅行は特別な学習、体験です。様々なことを学び、友情を深め、中学校生活の良い思い出となったのではないのでしょうか。修学旅行を通して学んだことを生かして、今後の学校生活がより充実したものとなることを願っています。

「元気だより」では、町の子どもの様子を学校・保育園等の現場からお届けします。